



障害を持つ子供たち100人で歌った『100人の夢、大合唱』(5月5日)



市民ガーデンでは、苗木のオーナーになった市民が自分の手でばらを植栽。(5月14日)



土日祝日の駐車場は、福岡や熊本、宮崎など県外ナンバーの車も目立ちました。



広いばら園を巡る『ローズトレイン』



韓国民謡団『打鼓聲』が、韓国の民謡や琴、舞踊を披露。(5月21日)



1999年砂像彫刻世界選手権優勝者の茶園勝彦さん(南さつま市)が製作した砂像彫刻「ローズフェアリー」。



期間中、ばら園では3組が結婚式を行い、1組が婚約式を行いました。



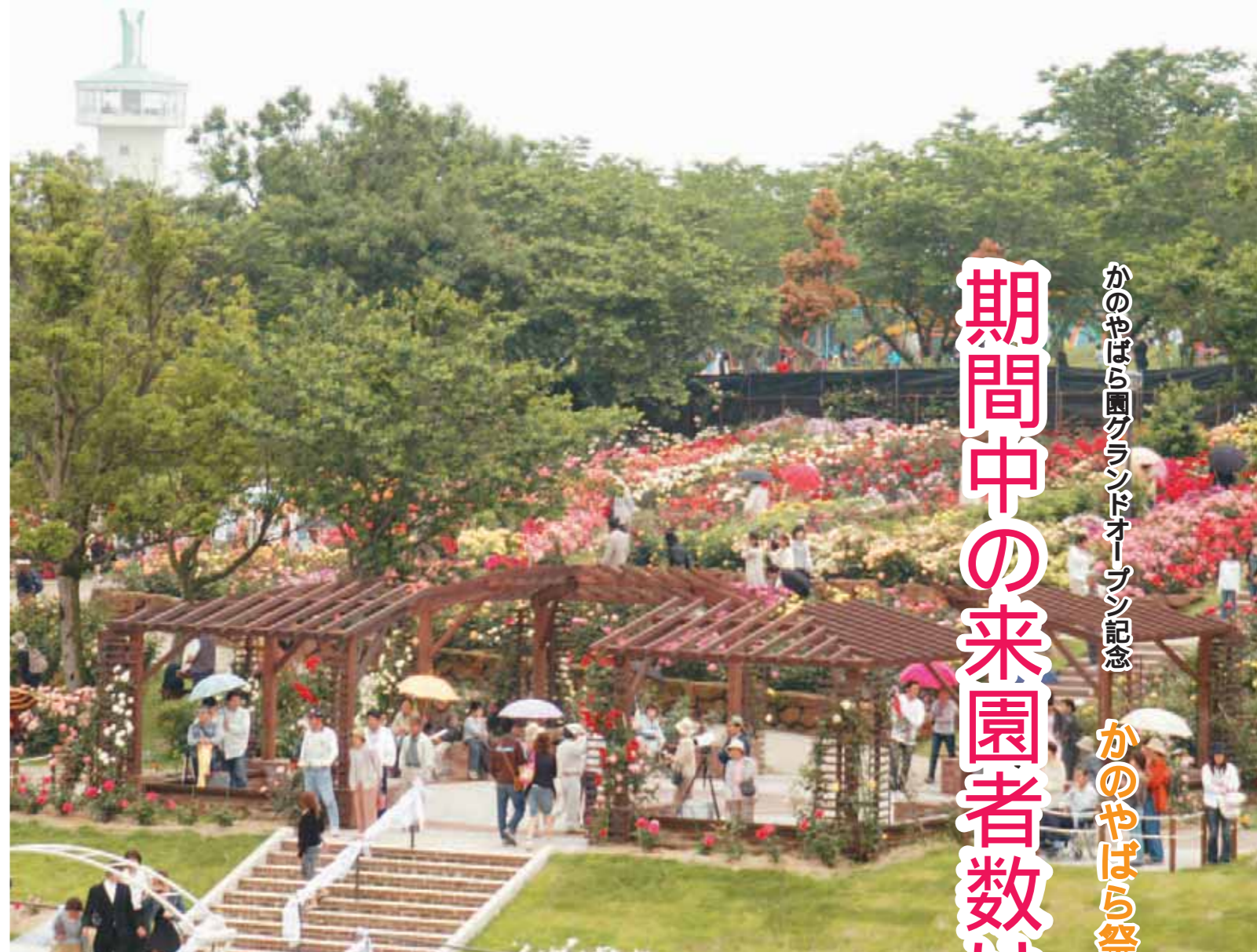
園内では、パントマイムやジャグリングなど、様々な大道芸が披露されました。



軽く焼いたカンパチを、ばらの花びらの様に盛りつけた栄楽寿司の『一輪のばら寿司丼』が優勝しました。



地元大隅の食材を用いた創作丼の人気を競った『おおすみばらエティ丼選手権』には、大隅半島各地から10店舗が出店。(5月21日)



新設されたエリアには、随所に樹木があり、木陰でのんびりとくつろぎながら園内を散策できます。

4月25日のグランドオープンから6月4日まで、かのやばら園で「かのやばら祭り2006」が開催されました。41日間に及んだ今年のばら祭りでは、土日祝日を中心に、100を超える様々なイベントを開催。県内外から多くの人が訪れ、ばらの魅力を楽しまました。

その結果、ばら祭り期間中の来園者数は、約11万人を記録(昨年の来園者数は年間約5万7千人)。開園34日目の5月28日には、10万人を達成し10万人目の来園者となりました。また、全国各地で「かのやばら園」を紹介していた「かのやばら大使」に、浅川翔さん、榎木孝明さん、井慎平さん、桂由美さん、辛島美登里さん、柴田亜衣さんの6人を任命。大使の名刺を渡し、「かのやばら園」の全国でのPRをお願いしました。



5月28日、開園34日目でばら園の来園者が10万人を達成。10万人目の来園者となった吉原瑞枝さん(鹿児島市、右から2人目)は、「10万人目と聞いてびっくりしました。いただいたばらの苗を大切に育てたいです」と喜びを語りました。

# 期間中の来園者数は11万人

かのやばら園グランドオープン記念

かのやばら祭り2006



ばらのソフトクリーム